

事例 青山学院大学大学院 国際マネジメント研究科様

 青山学院大学大学院の
プロフィール

青山学院大学大学院 国際マネジメント研究科は、日本の私学として長い歴史を持つビジネススクールとして、さまざまな年齢・性別・国籍・キャリアを持った学生を受け入れています。専門職学位課程(MBA)ではグローバルスタンダードに準じたカリキュラム体系を構築しており、2,200名を超える修生をこれまでに輩出しています。フル・タイム(昼間のコース)にはアジアからの留学生も多く、フレックス・タイム(夜間のコース)は企業などで働く社会人が中心です。文化の発信地である渋谷・青山エリアにあるキャンパスは幼稚園から大学院までが揃った学ぶ意欲の高まる雰囲気です。アクセスの便が良く、社会人の学生にとっては勤務先からのオフィスから通いやすい環境です。

青山学院大学 大学院
国際マネジメント研究科
研究科長 教授
岩井 千明 様
Chiaki Iwai (Dr.)

年間500コマ以上の講義を全自動で 映像コンテンツ化

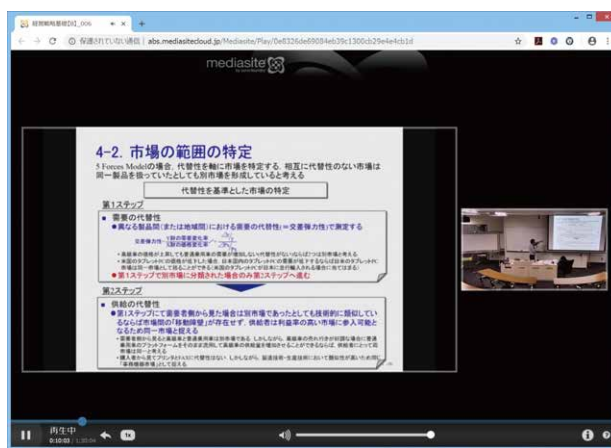
導入の背景 | MBAの基礎をしっかりと身につけさせるために映像を活用

青山ビジネススクールの大きな特長の一つは、必須基礎科目を重視していることです。30名ほどのシアター型の講義で国際マネジメントの遂行に必要なとされる経営各分野の基礎知識を吸収します。国内の一般的なビジネススクールでは4科目ほどなのに比較して、青山ビジネススクールでは9科目もあり、2年制の1年目のカリキュラムは必須基礎科目でほぼ埋まっています。これはアメリカのビジネススクールの体系に倣っています。なぜなら、必須基礎科目で学ぶ一定以上の知識を身につけなければ、その後続く選択基礎科目や専門科目への理解が疎かになり、さらにはそれまでの学びを駆使してプロジェクトに挑む青山アクション・ラーニング科目で十分な能力を発揮できないからです。選択式では個人の好き嫌いや得手不得手で履修科目が偏ってしまい、真に価値ある学習を高めることに繋がりません。また、実際の経営の場では総合的に意思決定することが求められます。基礎学力にばらつきがあってはならないということで必須基礎科目を重視したカリキュラムを構成しています。

青山ビジネススクールにはフル・タイム(昼間のコース)とフレックス・タイム(夜間のコース)があります。フレックス・タイムの学生の多くは、現役の社会人です。平日は18:30~21:40まで90分×2コマを週2回、さらには土曜日には終日の授業があります。小テスト、期末試験、レポートと、とてもハードな内容です。学生の学習意欲はとても高いので9割以上の出席率ではありますが、残業や出張などの業務上の理由で欠席しなければならないこともあります。フル・タイムの学生も就活などの事情で出席できないこともあります。入学を検討している学生からも、欠席時のサポート施策についての質問が多く寄せられます。それらのような背景があり、欠席した場合でも後から視聴学習できるシステムの導入を計画しました。

そして今回、Mediasiteを必須基礎科目の2つの教室に導入設置しました。教室の天井に設置したネットワークカメラで授業の様子を撮影しています。事前にセットしたタイマーに従って90分の授業が自動的にレコーダーに収録されます。先生の音声や板書に

加え、投影スライドも同期されます。映像コンテンツはサーバーにアップロードされ、学生は各自に発行されたID/パスワードを使い、パソコン・タブレット・スマートフォンのブラウザからいつでもどこからでも履修している科目を視聴学習できます。



導入の効果 | 映像学習は、おさらい復習ツールとしても有効

2017年前期に一部の授業で映像配信のトライアルを開始しました。学生への事後のアンケートでは「他の授業にも導入して欲しい」という要望の声が多くありました。さまざまな側面から導入検討を行い、2018年4月に全ての必須基礎科目を対象に本格運用を開始しました。

導入にあたっては、複数のソリューションを比較検討しました。最終的に、3つの候補の中からMediasiteを採用しました。決め手となったのは、Mediasiteが大学への導入実績が豊富だったことに加えて、教室に配備していたAV機器など既存設備を利用できることにメリットを感じました。安定稼働することは学生との約束でもあるので、とても重要です。たとえ、トラブルが発生しても、すぐに駆けつけて対応して欲しいです。それらへの信頼も感じてMediasiteの採用を決定しました。おかげさまで大きなトラブルもなく安定稼働できています。

Mediasiteには視聴履歴など学習実態を可視化する機能があり、それらとアンケートを分析してみると、欠席時の視聴だけでなく、出席した学生でも授業でわからなかったことをおさらいする復習のためのツールとしても使われていることが判明しました。

基礎をしっかり身につけることを手助けできると思います。今後は、板書など細かい箇所が視認できるようにするなど、より効果的なツールにできるように学生や先生からのフィードバックを反映して改善を続けていきます。



今後の展望 | 青山ビジネススクールならではの映像学習環境を実現していきたい

現在のシアター形式授業の収録配信を、将来的には遠隔地からゲスト講師や学生が参加できる双方向のアクティブ講義システムの実現へと発展できればと考えています。また、東京以外のビジネススクールのない地域へのサテライト映像配信も有効だと思います。欠席時の対応施策や、おさらい学習など「時間のギャップを埋める」ことから、これからは「場所のギャップを埋める」ことへと進化させていきます。青山キャンパスは素晴らしい立地なので願

を合わせられる意義は大切にしながら、青山ビジネススクールならではの効果的な映像学習環境を実現していきたいです。

ソニーはグローバルに事業展開しているので、国内のみならず海外の学校や企業などで、映像学習のどんな活用事例があるのか知見を伝えてもらいたいです。単なるハードウェアの販売導入ではなく、ソリューション活用の積極的な提案を引き続き期待しています。

導入機器	・ 教室設置のネットワークカメラ SRG-300HW 2台
	・ 教室設置のレコーダー Mediasite RL-Mini Recorder 2台
	・ Mediasiteサーバー 1式
導入パートナー	・ 東通産業株式会社

講義収録・管理配信ソリューションの商品情報やお客さま事例をご覧ください。

ソニービジネスソリューション株式会社
〒108-0075 東京都港区港南 1-7-1

[購入に関するお問い合わせは]
業務用商品購入相談窓口

0120-580-730
受付時間/9:00 ~ 18:00(土・日・祝日、および弊社休業日は除く)

